

行政視察報告書

平成28年10月17日

笠岡市議会議長 殿

(出張者) 委員長 東川 三郎 副委員長 斉藤 一信
委員 天野 喜一郎 委員 大月 隆司
委員 大山 盛久 委員 坂本 公明
委員 妹尾 博之
随行 坂本 明 (建設産業部) 随行 遠田 秀数 (事務局)

下記のとおり行政視察を実施したのでその結果を報告します。

記

【1】 福岡県 柳川市議会

住 所	福岡県柳川市本町87番地1
電 話	0944-77-8192
視察案件	柳川ブランド推進について
期 日	平成28年10月11日(火) 13時30分から15時00分まで
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	柳川市役所 柳川アンテナショップ「おいでメッセ柳川」

概 要	<p>◎ブランド推進の背景と目的</p> <p>どの産業も個別に政策を行い、振興を図ろうとしていますが、それぞれの連携がなく、いずれも伸び悩みの状況にあった。</p> <p>道の駅建設事業が頓挫（他市に建設した）したため、ブランド推進事業を進めた。</p> <p>「柳川をトータルでセールス」柳川が持つ自然や農水産物、町並み、地域特産物等を活用して、地域のイメージを高める。</p> <p>◎柳川ブランド推進協議会の立ち上げ</p> <p>（協議会の方がスピーディーに動きがとれる。会計処理など…）</p> <p>◎戦略構想4つのプロジェクト</p> <p>Pj1 他地域の商品（サービス）と明確に差異化できる柳川らしいブランド商品 ①特産品開発事業 ②消費者モニター事業</p> <p>Pj2 柳川の固有資源を活用した商品（サービス）の認定品づくり ③柳川ブランド認定事業</p> <p>Pj3 効果的な情報発信と販促活動 ④よかばもん〜体験 ⑤バスツアー ⑥ホームページの運営</p> <p>Pj4 地域イメージを向上させる取組み ⑦市民公開講座 ⑧アンテナショップの設置</p> <p>◎見えてきた課題</p> <p>業者の経験不足により販路拡大が思うように進まなかった。</p> <p>着地型観光を企画・運営できる人材の育成が必要。</p> <p>ホームページや物産展の開催では十分な効果を得るまでには至っていない。</p> <p>◎戦略構想の基本方針</p> <p>(1) 柳川のおきんど講座 (2) 商品開発・販路拡大支援事業</p> <p>(3) 柳川再発見プロジェクト</p> <p>(4) よかばもん〜ツアー視察体験型商品化事業</p> <p>(5) うまかもんつくりぐっちょ</p> <p>(6) 共創による商品開発及び販路拡大支援事業</p> <p>(7) 企業とのコラボで柳川の新名物づくり</p> <p>(8) プロモーション事業 (9) ブランド認定事業</p> <p>(10) 物産展の開催、参加</p> <p>(11) 柳川アンテナショップ”おいでメッセ柳川”設置</p> <p>(12) ふるさと納税を活用したイメージ発信</p> <p>(13) 首都圏での情報発信事業</p>
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺

【2】 福岡県 大牟田市議会

住 所	福岡県大牟田市有明町2丁目3番地
電 話	0944-41-2800
視察案件	新水道ビジョンについて
期 日	平成28年10月12日(水) 13時00分から15時30分まで
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	大牟田市議会 ありあけ浄水場
概 要	<p>新水道ビジョンにおいては、30年先まで水需要や施設の更新需要に関する見通しを推計しています。</p> <p>◎大牟田市の水源・・・清里水源地(地下水(深井戸)) 6,400m³/日 菊池川(表流水) 20,000m³/日 福岡県南広域水道企業団(受水) 21,500m³/日</p> <p>◎水道事業の現状と課題</p> <p>配水池耐震化の状況・・・大牟田市70.1%(全国平均47.1%) 経年化管路率・・・16.6%(平成26年) 管路の更新率・・・1.3%(平成26年) 危機管理…企業局では、大牟田市地域防災計画等に基づき、各種計画を策定しています。</p> <p>組織体制と経営改善の取り組み…職員給与費・職員数を減少し、委託料の割合を増加している。(民間に技術を出していく)</p> <p>民間委託…浄水場の管理・配水池の維持管理・給水管の公道修理・営業活動 ありあけ浄水場…ドキュメント・プロセス・アウトソーシング(DPO)</p> <p>◎将来を見据えた課題・施策</p> <p>水運用の見直し・施設の効率性・資産の現状把握・老朽管更新事業の取り組み・経営基盤の強化の取り組み</p> <p>◎大牟田市新水道ビジョンの基本理念・理想像</p> <p>基本理念…安心安全な水を将来へつなぐ信頼ある大牟田の水道 理想像…安全・いつでも安全に飲める水道 強靱・どんなときでも安心して使える水道 持続・いつまでも信頼される水道</p> <p>◎未来へつなぐ戦略的な経営の改革</p> <p>組織・人材・定員・給与に関する事項 広域化・民間の資金・ノウハウ活用等に関する事項 その他の経営基盤強化の取り組み(ICT活用等) 資金不足比率・資金管理・調達・情報公開 その他重点事項(防災対策・危機管理等)</p>
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺

【3】 大分県 大分市議会

住 所	大分県大分市荷揚町2番31号
電 話	097-537-5644
視察案件	大分駅周辺総合整備について
期 日	平成28年10月13日(木) 9時30分から11時30分まで
応 対 者	別紙名刺のとおり
視察状況	別紙写真のとおり
訪問施設	大分市議会 大分駅周辺・ホルトホール大分
概 要	<p>◎大分駅周辺地区の課題</p> <p>鉄道により都市が南北に分断され、市街地の一体的な発展を妨げていた。 北側市街地…行政、商業・業務、文化等の中核機能が集積 都市基盤がほぼ整備完了 南側市街地…駅裏的印象が強く、商業・業務的土地利用は少なかった 周辺部からのアクセス性も不十分だった</p> <p>◎大分市都市計画マスタープラン</p> <p>①鉄道による分断を解消し、南北市街地の一体的な発展と交通の円滑化 ②駅周辺の低未利用地の解消 ③大分駅への交通アクセスと交通結節機能の強化 ④都心居住型市街地ゾーンの形成</p> <p>◎大分駅前広場基本計画</p> <p>北口駅前広場整備方針…”まち”と”えき”をつなぐ”交通”と”交流”の拠点となる機能的な広場 南口駅前広場整備方針…シンボルロードにつなぐ魅力発信広場</p> <p>◎シンボルロード「大分いこいの道」</p> <p>大分駅と市美術館がある上野の森を結ぶ、幅員100m延長440m。 イベントで年間約17万人利用。 市政施行100年記念モニュメント…100年の樹</p> <p>◎市民ボランティア組織</p> <p>大分いこいの道協議会…協議会憲章：「誰もが主役、市民で育てるみんなの広場」 運営委員会…維持部会・企画部会・広報部会 (大分市から、協議会運営や芝刈り等に必要な費用を交付金として支出)</p> <p>◎複合文化交流施設「ホルトホール大分」</p> <p>駅南・情報文化新都心の中核的な拠点施設(平成25年7月20日オープン) 会議室・市立図書館・子育て交流センター・キッチンスタジオ・トレーニングルーム・福祉交流ひろば・産業活性化プラザ</p>
添付書類	視察資料 視察状況写真 名刺

平成28年度 建設産業委員会行政視察写真



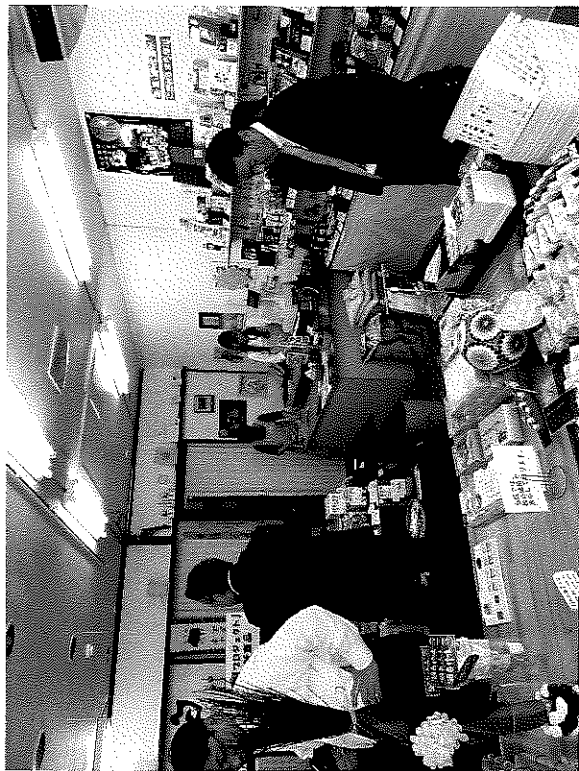
柳川市議会



おもてなし柳川



おいでメッセ柳川（外観）



おいでメッセ柳川（店内）



大牟田市議会



ありあけ浄水場（講義室）



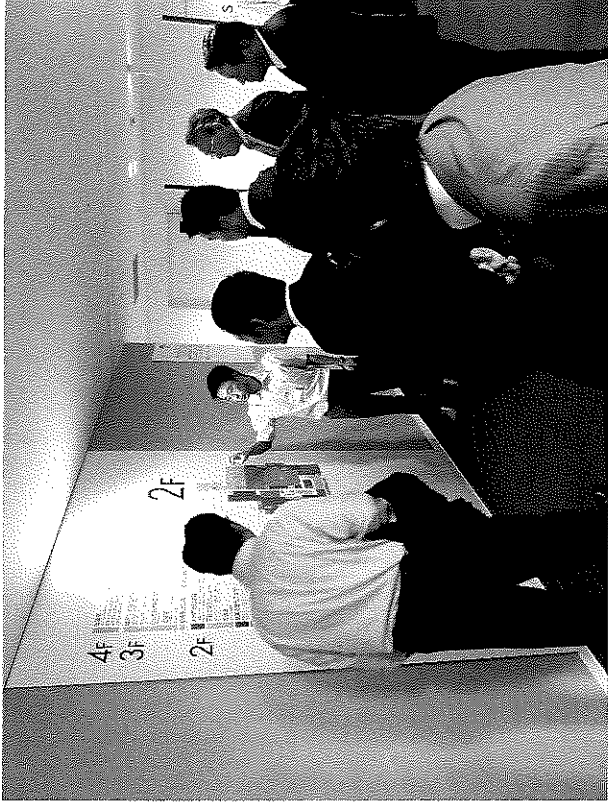
ありあけ浄水場（入口）



膜ろ過装置（セラミック膜）



大分市議会



ホルトホール大分



大分駅 北口整備事業



大分駅 南口整備事業